

6. 本校の活動の対外報道

6.1 対外報道一覧

6 本校の活動の対外報道

6.1 対外報道一覧 (H27. 4. 1~H28. 3. 31)

分類	記事内容	掲載日	新聞雑誌等
学校トピックス	香川県内にキャンパスを置く8つの大学などが25日、県内大学の魅力を高めるため「大学コンソーシアム香川」を立ち上げた。参加する大学は地域社会への情報発信や地域貢献などで連携を強化する。県外への進学率が高く少子化が続く香川県で、地元の高校に県内大学への進学を促すなど学生の確保につなげる。香川大学、香川高専、香川短期大学、徳島文理大学など8校が参加する。	27. 9. 26	日本経済新聞
	香川高専建設環境工学科の3年生45人が9月25日、大成・飛島・村上JVが施工する椛川ダム建設の工事現場を訪れ現場見学を行った。当日は、県高松土木事務所の椛川ダム建設事務所職員らが建設が進むダム本体工事や周辺の地すべり対策工事、付け替え県道橋梁工事などの進捗状況、完成予想図をもとに概要を説明した。	27. 10. 2	建通新聞
	「高専ロボコン2015 四国大会」で優勝した香川高専(詫間) Bのロボット Force と準優勝の同高専 Aのロボット Eclipse が、NHK 高松放送局ゆう6かがわの「中継おじゃましますコーナー」で生中継された。中継会場の同高専第1体育館で、2台のロボットが再び四国大会と同様の輪投げ合戦を繰りひろげる様子が中継され、11月22日に両国国技館で行われる全国大会に向けて、出場学生へのインタビュー等が放送された。	27. 11. 6	NHK高松
	「全国高専ロボットコンテスト2015 四国地区大会」が三豊市詫間町の香川高専詫間キャンパスであり、5校12チームが熱戦を繰り広げた。今回は「輪花繚乱(わっかりょうらん)」をテーマに輪投げを実施、輪を9本のポール全てに先に入れるか、競技時間3分終了後に得点の多いチームが勝ちとなる。優勝した香川高専詫間Bと審査員推薦の香川高専高松Aが、11月22日に東京である全国大会に出場する。	27. 11. 20	四国新聞
	全国の高専生が日頃の研究成果を発表する「第21回高専シンポジウム in 香川」が23日、丸亀市で開かれた。シンポは産業界等のニーズに合ったエンジニアを育成するため、毎年開かれており、香川高専詫間キャンパス専攻科1年の藤田健斗さんが、乳幼児突然死症候群の発症をいち早く発見するために開発した高感度呼吸センサーについて発表するなど、全国の高専生がプレゼンとポスター掲示を合わせて471件の研究成果を発表した。	28. 1. 24	四国新聞

分類	記事内容	掲載日	新聞雑誌等
学校トピックス	香川高専で1日、2016年度入試の願書受け付けが始まり、初日は151人が出願した。願書受け付けは5日まで。一般入試の定員は142人。学力検査を2月21日に行い、合格発表は26日。1月17日に実施した推薦入試では139人が内定している。	28.2.2	四国新聞
	全国の国立高専で21日、2016年度入試が一斉に行われた。香川高専では、推薦合格者を除く142人の募集定員に対して218人が受験し、最終平均競争率は1.54倍(前年度1.70倍)となった。試験は高松キャンパス、詫間キャンパスのほか、倉敷市内の会場でも実施。合否は学力試験と調査書を基に判定し、26日に合格発表を行う。	28.2.22	四国新聞
	香川高専の2016年度入試の合格発表が26日、高松、詫間の両キャンパスであり、7学科の294人(うち推薦139人)が合格した。出身地別では、香川が266人、岡山16人、徳島7人、愛媛1人などだった。	28.2.27	四国新聞
研究	百十四銀行学術文化振興財団は15日、県内で研究開発や芸術活動に取り組む21個人・団体に対し、助成金として総額1千万円を送った。同財団の助成は2011年度から実施、本年度は公募で選んだ産業・学術部門の12個人、文化部門の1個人8団体に助成した。香川高専関係では、「産業・学術部門」で伊藤勉、中村篤博、林和彦の3名の教員が受賞した	27.12.16	四国新聞
	高松市の庵治石開発協同組合は、地震による液状化対策に有効として、採石時の廃材「ズリ」を宅地地盤材として販売する。地盤表層にズリを敷くことで液状化による建物の沈下が起きにくいことを、香川大、香川高専との共同研究で確認した。記事には、「実験装置でズリの有効性を紹介する香川高専の小竹望教授」の写真が掲載されている。	28.2.13	四国新聞
	庵治石開発協同組合は12日、「庵治石採取の際に産出される採石ズリが地震による液状化に伴う沈下量に有効であり、宅地の地盤材料に適している」とした香川大学工学部と香川高等専門学校との共同研究結果を公表した。当日は香川高専の小竹望教授と香川大の山中稔准教授がこれまでの研究内容を発表した。今後同組合では、採石ズリを地盤造成材料の新商品として販売展開していく。	28.2.19	建通新聞

分類	記事内容	掲載日	新聞雑誌等
研究	香川大と香川高専の共同研究チームは、高松市特産の「庵治石」を採掘する過程で出るズリ（土石）に液状化抑制効果が証明されたと発表した。研究チームは「庵治石ズリは粒の大きさの分布幅が広く土粒子間の隙間が埋まりやすい」ことを発見、ズリを加えることで地盤が締まりやすくなることを証明した。ズリの有効活用の道を探っていた「庵治石開発協同組合」は、この結果を受けズリの商品化を急ぐ。	28. 2. 29	毎日新聞
各種コンテスト	世界最大の学生向け IT コンテスト「Imagine Cup(イマジンカップ)」の日本大会」で、香川高専詫間キャンパスの学生グループが開発した「すくえあ」が最優秀賞に輝き、7月に米国シアトルで開催される世界大会の出場権を獲得した。学生たちは、次は世界一の栄冠に向けて意欲をみせている。	27. 4. 29	四国新聞
	香川高専詫間キャンパスの学生が風に反応し映像が変化するシステムを開発した。7月にアメリカで開かれる学生向けの IT コンテスト「イマジンカップ世界大会」に、日本代表として出場する。開発したシステムは「すくえあ (SCREEN feels Air.)」と名付けられ、名前の通り「風を感じるスクリーン」網目のスクリーンに風を送ると、奥にあるセンサーが感知して、その情報を映像に反映させる。	27. 5. 14	朝日新聞
	香川高専詫間の情報工学科 5 年生のグループが、風の動きを瞬時に映像で表現するシステムを開発した。4月に東京であった学生 IT コンテスト「イマジンカップ」日本予選で最優秀賞に輝き、7月に米国で開かれる世界大会に出場する。世界大会は7月27日から31日までシアトルで開かれ、各国から約30チームが出場する。	27. 5. 21	読売新聞
	スクリーンに映し出された映像ののれん等にうちわで風を送ると、風の動きを感知してのれんが揺れたりするシステム「すくえあ『SCREEN feels AIR.』」を香川高専情報工学科5年の山崎啓太さんら5人のグループが開発した。4月に東京で開催された日本マイクロソフト主催の学生 IT コンテスト「イマジンカップ 2015 日本大会」で最優秀賞に選ばれ、7月末にシアトルで開かれる世界大会に日本代表として出場する。	27. 6. 16	毎日新聞

分類	記事内容	掲載日	新聞雑誌等
各種コンテスト	7月下旬に米国シアトルで開かれる「世界最大の学生向け IT コンテスト「Imagine Cup (イマジンカップ)」」に出場する香川高専詫間キャンパスの学生チームが7日、三豊市の同キャンパスで模擬プレゼンテーションを行った。同プレゼンには、日本マイクロソフト社の社員や学生ら約170人が出席。学生は開発した、風を感じるスクリーン「すくえあ」を英語で紹介し、「世界中に新しい風を巻き起こす」と意欲を見せた。	27.7.8	四国新聞
	米シアトルで今月開かれる IT コンテスト「イマジンカップ」に日本代表として出場する香川高専詫間の情報工学科5年のグループ6人が7日、同校で壮行会を兼ねた模擬発表を行った。約150人の学生や教授を前に、開発した作品「すくえあ」を披露、この日は、米国での発表を想定して英語でスピーチ。グループ代表の山崎啓太さんは「世界中に新風を巻き起こしたい」と意気込んでいた。	27.7.8	読売新聞
	日本で開催された IT スキルを競う大会で最優秀賞を受賞し、世界大会に出場した香川高専詫間キャンパス情報工学科の5人のグループが開発した風を感じるスクリーン「すくえあ」の機能が映像で詳しく紹介された。また今後に向けての課題と更なる技術開発の様子が放映された。	27.8.27	瀬戸内海放送
	昨年12月、千葉県で開かれた「第4回高校・高専気象観測機器コンテスト」で香川高専高松キャンパスのチームが2位にあたる優秀賞を受賞した。受賞したのは「多地点同時降雨観測・多種データ観測システム」で、同校宇宙開発研究同好会に所属する電気情報工学科5年の金丸将之、大西一平、関屋瑞樹、賀嶋巧史、村川星斗さんのチームで、村上幸一准教授の指導で同システムの開発に取り組んだ。	28.2.5	朝日新聞
	第13回キャンパスベンチャーグランプリ四国において、香川高専の岡田加奈子さんが提案した歯ブラシと歯磨き粉が充填された一体型歯ブラシが佳作を受賞した。本体の内部は空洞で、歯磨き粉の入ったカートリッジや歯磨き粉が勝手に出ないためのチャックリングが内蔵されている。コンパクトで持ち歩きに便利、歯ブラシのヘッド部分とカートリッジは交換できるので、清潔状態を維持できる。	28.2.24	日刊工業新聞

分類	記事内容	掲載日	新聞雑誌等
部活動	第 97 回全国高校野球選手権香川大会 1 回戦の結果、香川高専高松は大手前高松高校と対戦し、2 対 9 で敗れた。試合は、開幕試合の雰囲気のにまれ序盤に 5 点を許すも、中盤に 2 点を返し反撃したが、相手校の小まめな継投に反撃を絶たれ、健闘むなしく初戦で敗退した。	27. 7. 12	四国新聞、 読売新聞、 朝日新聞、 毎日新聞
	第 97 回全国高校野球選手権香川大会 2 回戦の結果、香川高専詫間は琴平高校と対戦し、6 対 14 で敗れた。試合は、3 対 3 の同点で迎えた 6 回、琴平高に打者一巡の猛攻に遭い 6 点を献上した。終盤反撃するも投手陣が踏ん張れず敗退した。	27. 7. 20	四国新聞、 読売新聞、 朝日新聞、 毎日新聞
	香川県三豊市内のプラモデル愛好家らの作品を集めた西讃プラ模型展示会が、香川県三豊市豊中町の市豊中町図書館と市民交流センターで開かれている。展示会は、愛好家約 30 人でつくる西讃プラ模型クラブが開催。さぬきモデラーズや香川高専模型同好会から寄せられた作品も含め、計約 250 点を紹介している。	27. 8. 13	四国新聞
	四国 4 県を舞台に 13 競技が行われた四国地区高専体育大会において、県勢は香川高専高松が、硬式野球、男子バレーボール、同バドミントン団体、同ハンドボールの 4 競技を制した。香川高専詫間は、卓球団体、男子ソフトテニス団体の 2 競技で頂点に立った。(記録は県勢の団体と個人上位)	27. 8. 25	四国新聞
地域・社会活動	三豊市少年少女発明クラブは 18 日、同市詫間町の香川高専詫間キャンパスで 2015 年度の開講式を開く。開講式では、市内の特殊車両製造会社の社長が「将来の夢」をテーマに講演するほか、詫間キャンパス学生が全国高専ロボコンに出場したロボットを実演予定である。	27. 4. 11	四国新聞
	文学について広く学ぶ本年度の菊池寛記念館文芸講座が、6 月 6 日から香川県高松市昭和町のサンクリスタル高松で開かれる。講師は 10 人。毎月交代で講師を務める。今回初めて登壇する東城敏毅さん(香川高専教授)は万葉集について語る。	27. 5. 28	四国新聞
	戦時中に特攻隊の訓練基地「詫間海軍航空隊」があった三豊市詫間町の香川高専詫間キャンパスの教員と生徒が 16 日、同市のマリンウェーブマーガレットホールで開かれる「終戦 70 周年平和祈念講演会『太平洋戦争と三豊』・展示会」で、映像と記録写真などで特攻に飛び立った隊員たちの様子などを伝える。	27. 8. 15	毎日新聞

分類	記事内容	掲載日	新聞雑誌等
地域・社会活動	三豊市仁尾町の文化会館周辺で19日、「仁尾八朔人形まつり」が開幕した。作品は文化会館周辺の全長約2kmのコースに軒を連ねる民家の車庫など26カ所で展示。香川高専詫間キャンパスの学生は「浦島太郎の物語」を制作、観音寺市の漫画家が描いたシーンを舞台上の画面に映し出すとともに、太郎が亀のロボットに乗って舞台に現れる演出を織り交ぜている。まつりは21日まで行われる。	27.9.20	四国新聞, 毎日新聞
	小中学生が自作のロボットの性能などを競う「みとよロボコン2015」が、三豊市詫間町の香川高専詫間キャンパスで開かれた。今回が9回目となるロボコンは小学生対象のビギナークラスと、中学生対象のハイレベルクラスの2部門があり、県内外から15チームが出場した。参加した生徒達は同キャンパスの学生らのアドバイスをを受けながらプログラムや部品などを入念に調整し、自慢のロボットを巧みに操り優勝を争った。	27.9.22	四国新聞
	9月25日、高松市保健センター第研修室において行われた、高松市地域包括支援センター主催のはつらつ介護予防教室「わくわく脳トレ講座」(協力:香川高専詫間)の様子が紹介された。この講座は高松市在住の65歳以上の希望者を対象に、元気な体を保つことを目的としている。第2回目の今回は、家庭用ゲーム機を使い、音楽に合わせて太鼓を叩く太鼓の達人など、楽しそうにゲームを体験する老人達の姿が紹介された。	27.9.25	西日本放送
	食を通して国際交流を図る「世界の食文化交流会」が26日、香川県綾川町の山田公民館であった。綾川国際交流会が1995年から毎年実施、21回目の今回は香川大、香川高専高松の外国人留学生をはじめ、県海外技術研修員、地元住民ら約70人が参加した。インドネシアなど3カ国の留学生8人が自慢のお国料理を地元住民らと一緒に調理し、互いの食文化について理解を深めた。	27.9.27	四国新聞
	香川高専とかがわ産業支援財団は、10月16日9時30分から香川高専高松キャンパスにおいて、建設技術者や官公庁、公的機関などに勤務する社会人を対象とした「実践的な原位置透水試験法(基本コース)」を開催し、室内モデル地盤における透水現象などを紹介する。問い合わせは香川高専総務課(087-869-3815)まで。	27.9.29	日刊工業新聞
	かがわ産業支援財団と香川高専は25日、地域の産業振興に関する連携・協力協定を締結した。県内中小企業の研究開発支援や同校の人材育成で連携を図り、地域の課題解決や産業の発展につなげる。同財団が学校や大学と連携協定を締結するのは、香川短大、香川大大学院地域マネジメント研究科に続き3例目となる。	28.3.26	四国新聞

分類	記事内容	掲載日	新聞雑誌等
その他	高松市の姉妹都市、仏・トゥール市へ青少年親善研修生として派遣される香川高専建設環境工学科4年の小田菜月さんと香川大学教育学部の大坂ふみさんが、同市の大西市長を訪ね、研修中の抱負を語った。2人は9月5日～19日の日程で研修を行うとともに、高松市の魅力や日本の文化を伝える。	27.8.31	四国新聞
	丸亀・善通寺/多度津地区防犯協会と丸亀署は8日、丸亀市天満町のJR讃岐塩屋駅近くで線路内にいた女性を救助したとして、香川高専詫間専攻科1年の谷口浩平さんと名古屋市の会社員太田悠斗さんに感謝状を贈った。帰省中の太田さんと幼なじみの谷口さんは、8月12日、自殺をしようと考えて線路内をふらふら歩く女性を見つけ、柵を乗り越え線路内に入り2人がかりで連れ出した。	27.9.9	四国新聞
	特集記事「香川知ってるつもり!？」で県内の図書館(上)が紹介された。大学、短大、高専の計7校11キャンパスにある「学内図書館」のジャンルで、香川高専詫間キャンパス図書館は英国の児童用教材など比較的簡単な英語図書が約3千冊と豊富で、学生の英語力アップに役立っており、四国内ではトップクラスの数で、県外からの利用者もいることが紹介された。	27.10.11	四国新聞
	文部科学省の海外留学プログラムの第4期派遣留学生に、香川大の学生5人と香川高専の学生1人が選ばれた。29日に高松市幸町の香川大学で壮行会があり、6人の留学生はオリーブ産業や観光振興などの分野で香川を支える人材へと成長することを誓った。香川大学生5人と香川高専から選ばれた大野昇平さん(21)らは、春から夏ごろにかけてニュージーランドやタンザニア、インドネシアなどに留学する。	27.3.30	四国新聞